

## Proself Disk のインストールから操作方法まで (Windows 版)

Proself Disk は、情報基盤室が運用しているオンラインストレージシステム(以下、Proself という)の利用者のフォルダをパソコンの仮想ドライブとして割り付け、ローカルディスクと同じようにファイル操作を行うことができるクライアントソフトウェアです。この Proself Disk は、次の情報基盤室が運用する Proself を仮想ドライブとしてアクセスできます。

<https://storage.design.kyushu-u.ac.jp>

以下では、Proself Disk のインストールから利用方法について、Windows8.1 での操作方法を述べています。

1. Proself Disk のインストール
2. Proself Disk の設定
3. Proself への接続と切断
4. 仮想ドライブのファイル操作

### 1. Proself Disk のインストール

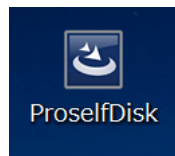
・次の URL にアクセスすると図 1 のような画面が表示されるので、「ProselfDisk.exe」をクリックしてダウンロードしてください。(URL は 2 行に分かれていますが、1 行目と 2 行目を足し合わせてください。) この Proself Disk は、情報基盤室が運用する Proself のみ接続可能です。

[http://www.imo.design.kyushu-u.ac.jp/proself/ProselfDisk\\_Win/](http://www.imo.design.kyushu-u.ac.jp/proself/ProselfDisk_Win/)



図 1 ダウンロード画面

- ・ダウンロードしたファイル（ProselfDisk.exe）をダブルクリックして実行してください。



- ・図 2 のような画面が表示されるので「次へ(N)>」をクリックしてください。

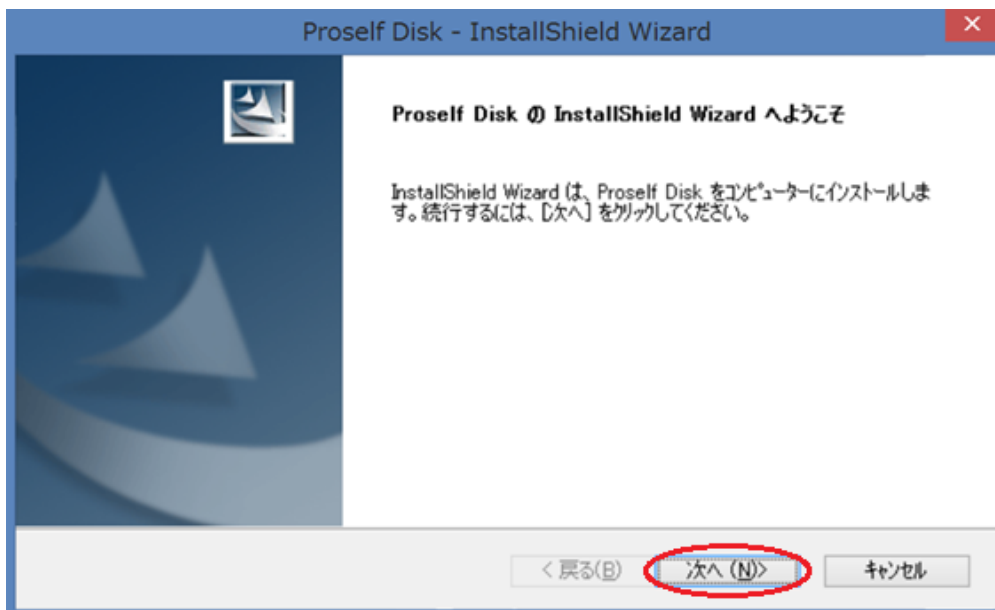


図 2 インストールウィザード画面

- ・図 3 のような画面が表示されるので、「使用許諾契約の全項目に同意します(A)」にチェックを入れて「次へ(N)>」をクリックしてください。



図 3 使用許諾契約の画面

- ・ 図 4 のような画面が表示されるので、「次へ(N)」をクリックしてください。インストール先を変更する場合は、「変更(C)」をクリックして変更してください。

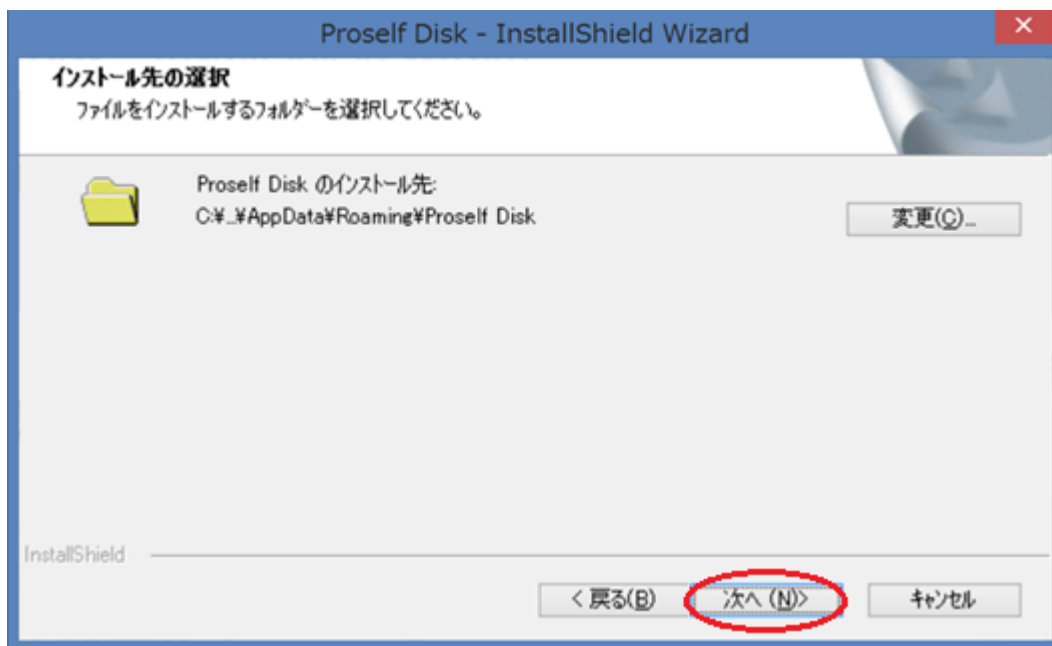


図 4 インストール先選択画面

- ・ 図 5 のような画面が表示されるので、「次へ(N)」をクリックしてください。

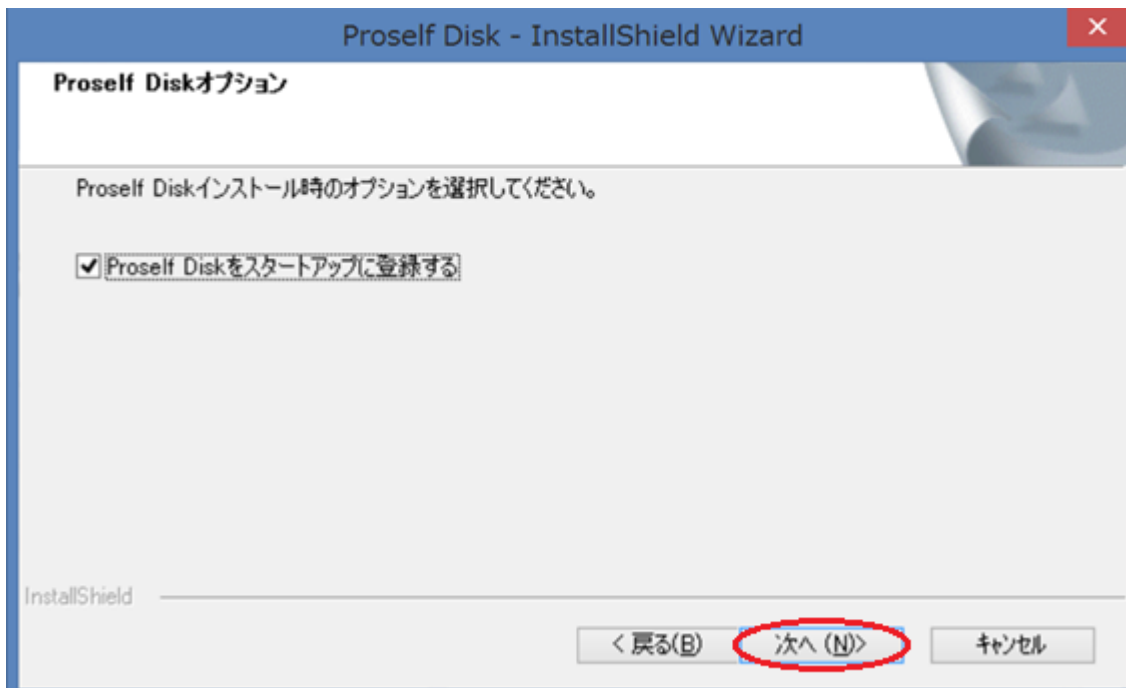


図 5 オプション選択画面

- ・ 図 6 のような画面が表示されるので、「インストール」をクリックしてください。

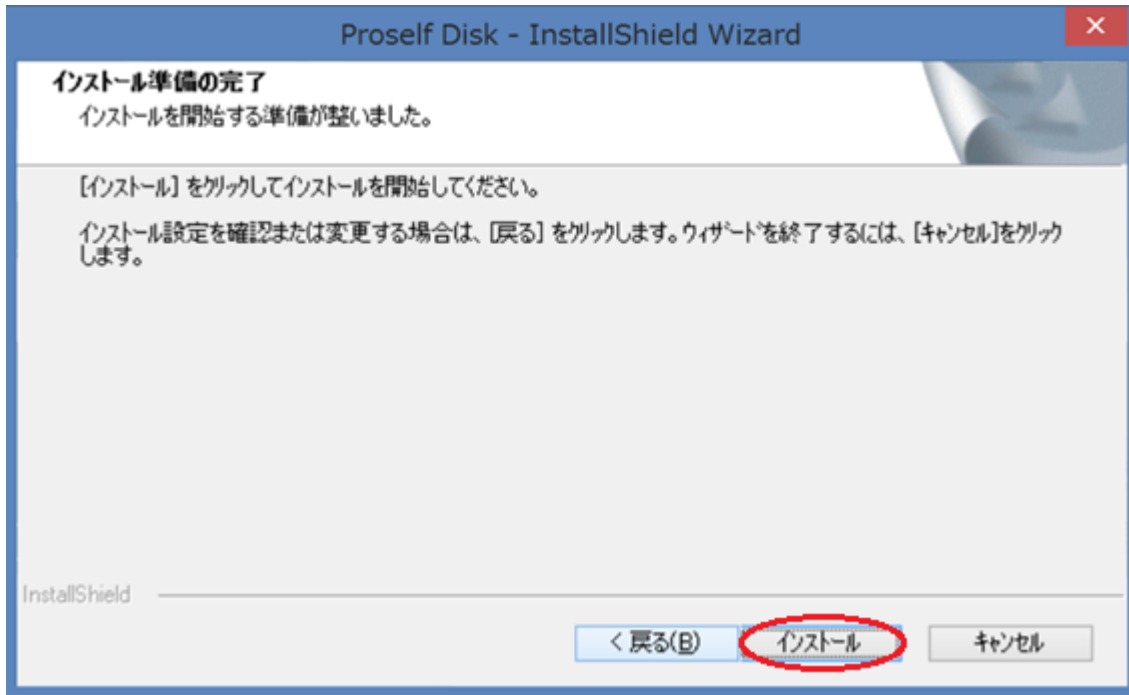


図 6 インストール準備完了画面

- ・ 図 7 のような画面が表示されるので、「完了」をクリックしてインストールを完了してください。

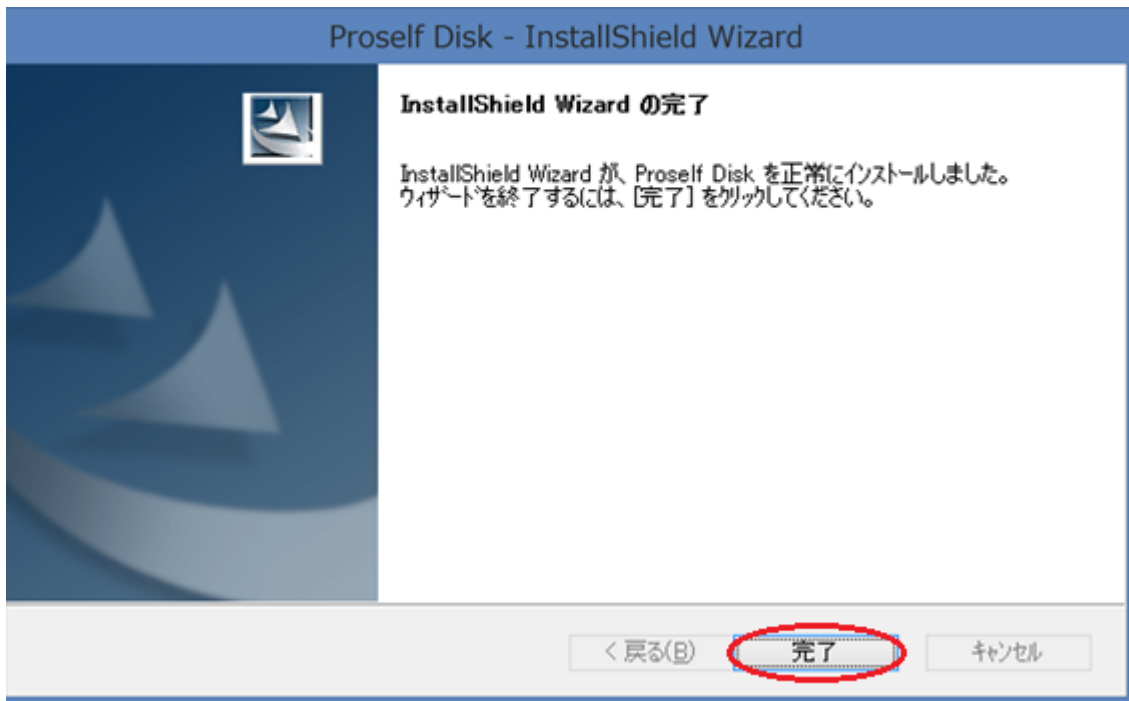



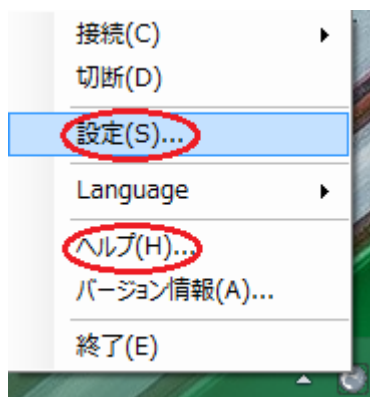
図 7 インストール完了画面

## 2. Proself Disk の設定

- ・ タスクバーに表示されている Proself Disk アイコン(  ) を右クリックして「設定(S)...」をクリ

ックしてください。なお、「ヘルプ(H)...」をクリックすると詳細な説明画面が表示されますので設定の参考にしてください。

また、タスクバーにアイコンが表示されていない場合は、パソコンを再起動してみてください。



・「設定」をクリックすると図8のような画面が表示されるので「追加」ボタンをクリックしてください。

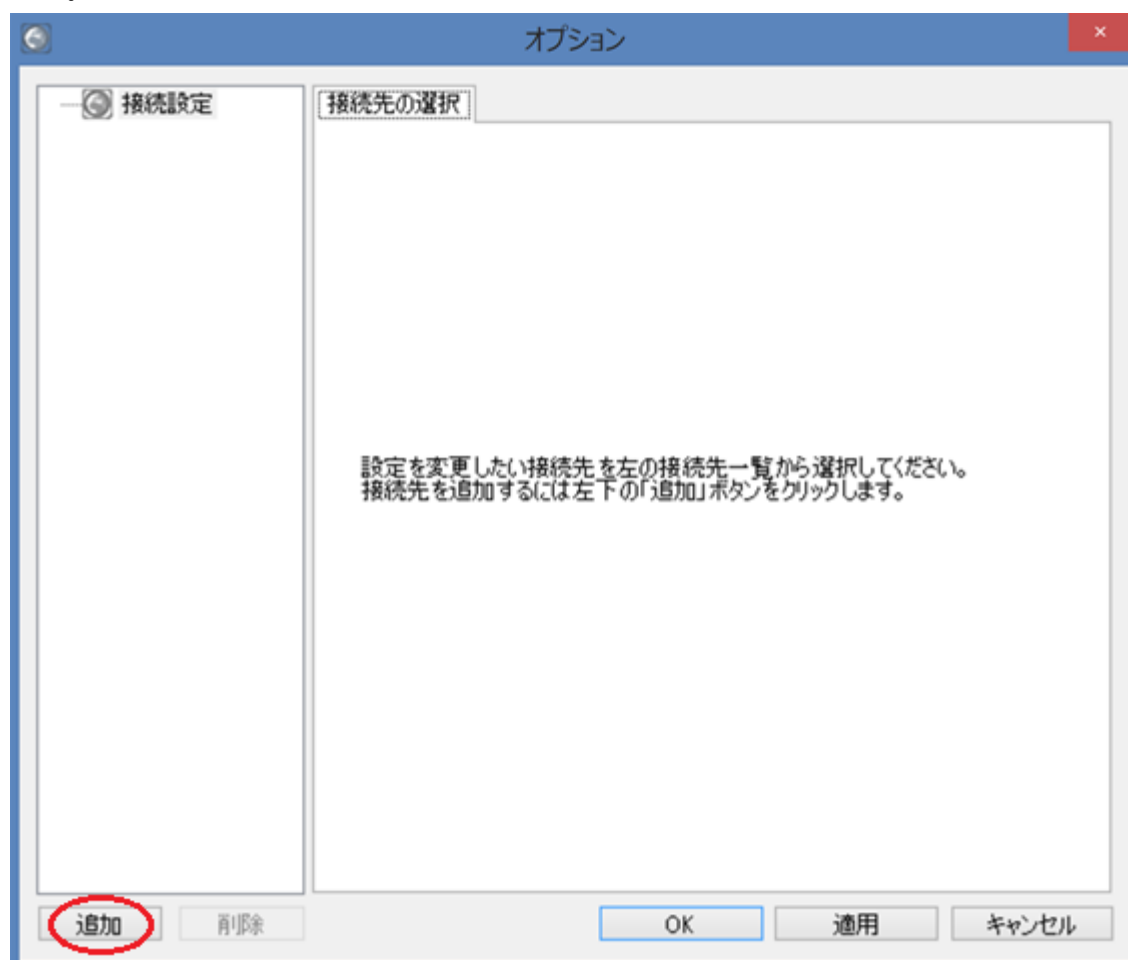


図8 接続先追加画面

・図9のような画面が表示されるので「接続名」と「サーバーのアドレス」を入力して「OK」ボタンをクリックしてください。

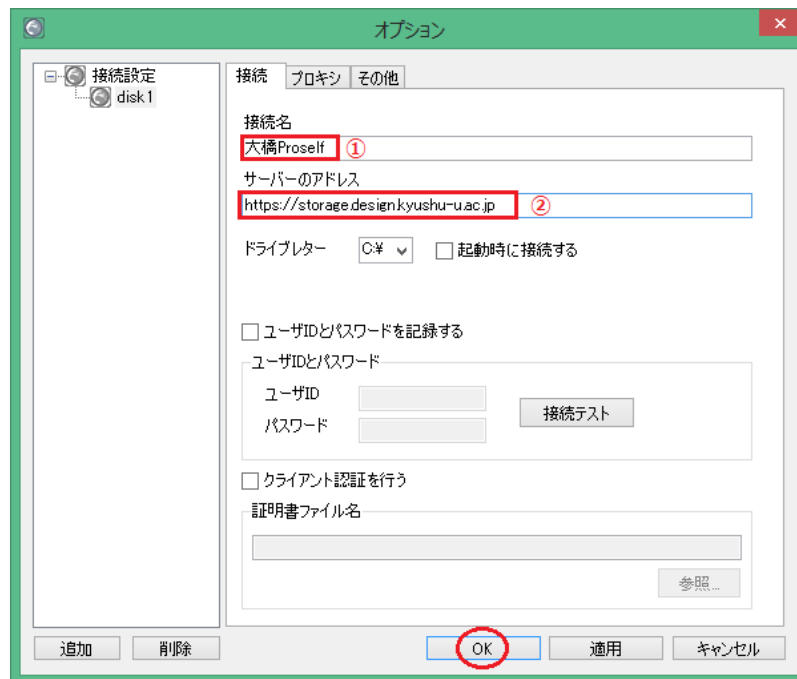


図9 接続先の設定画面

- ① 接続名： 任意の名前
- ② サーバーのアドレス： <https://storage.design.kyushu-u.ac.jp>

なお、ノートパソコンに **Proself Disk** をインストールする場合は、ユーザ ID とパスワードは記録しない(ユーザ ID とパスワードを記録するにチェックをいれない)ようにしてください。

ユーザ ID とパスワードを記録しますと、万が一、盗難にあった場合に **Proself** にアップロードしているファイルにアクセスされてしまうことになります。少し面倒になりますが、**Proself** に接続する度に ID とパスワードを入力するように心がけてください。

・図10のようなログイン画面が表示されるので、ユーザ ID(情報基盤室が発行している利用者 ID)とオンラインストレージに設定しているパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。

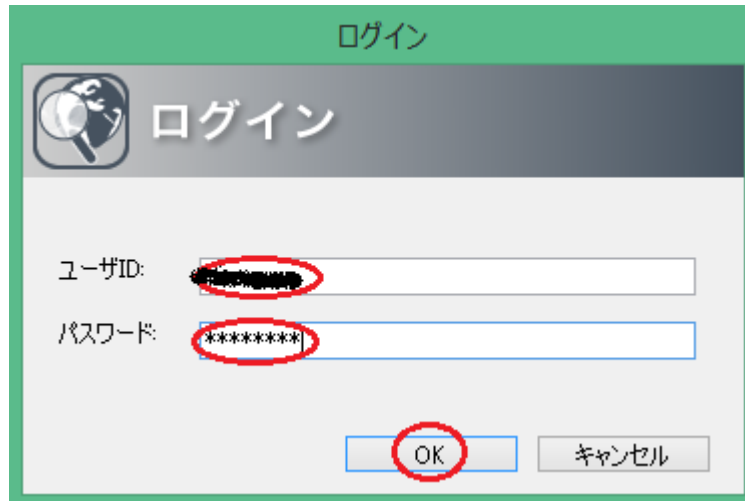


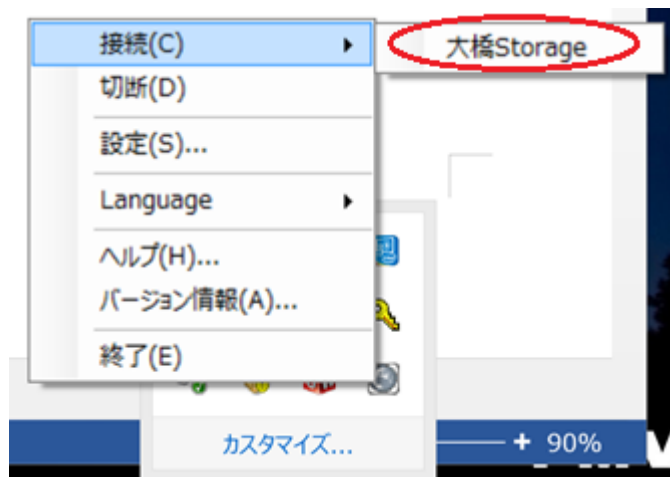
図 10 ログイン画面

### 3. Proself への接続と切断

#### (1) 接続

タスクバーの Proself Disk アイコンを右クリックして「接続(C)」メニューから接続名をクリックして接続してください。

なお、Proself Disk の設定で、「起動時に接続する」にチェックを入れている場合は、パソコンが起動するときに自動的に接続されます。



次のようなユーザ ID とパスワードを要求する画面が表示されるので、Proself のユーザ ID とパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックしてください。(設定時にユーザ ID とパスワードを記録している場合は、この要求画面は表示されません。)

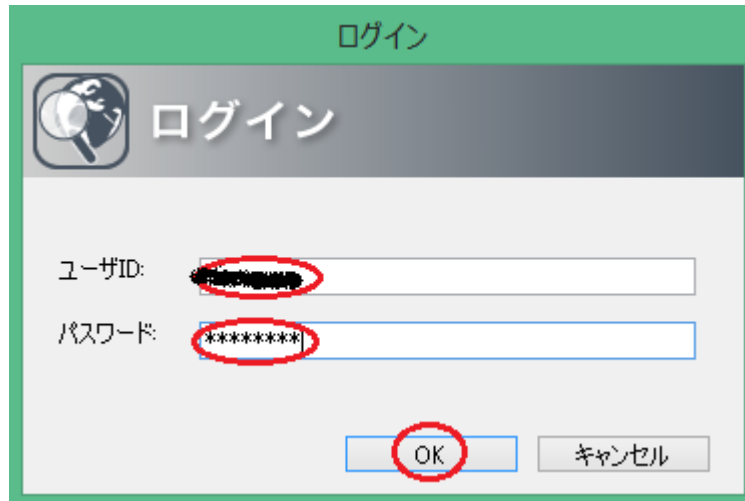


図 11 ユーザ ID とパスワード要求画面

接続されると、図 12 ように仮想ドライブとして割り付けられます。

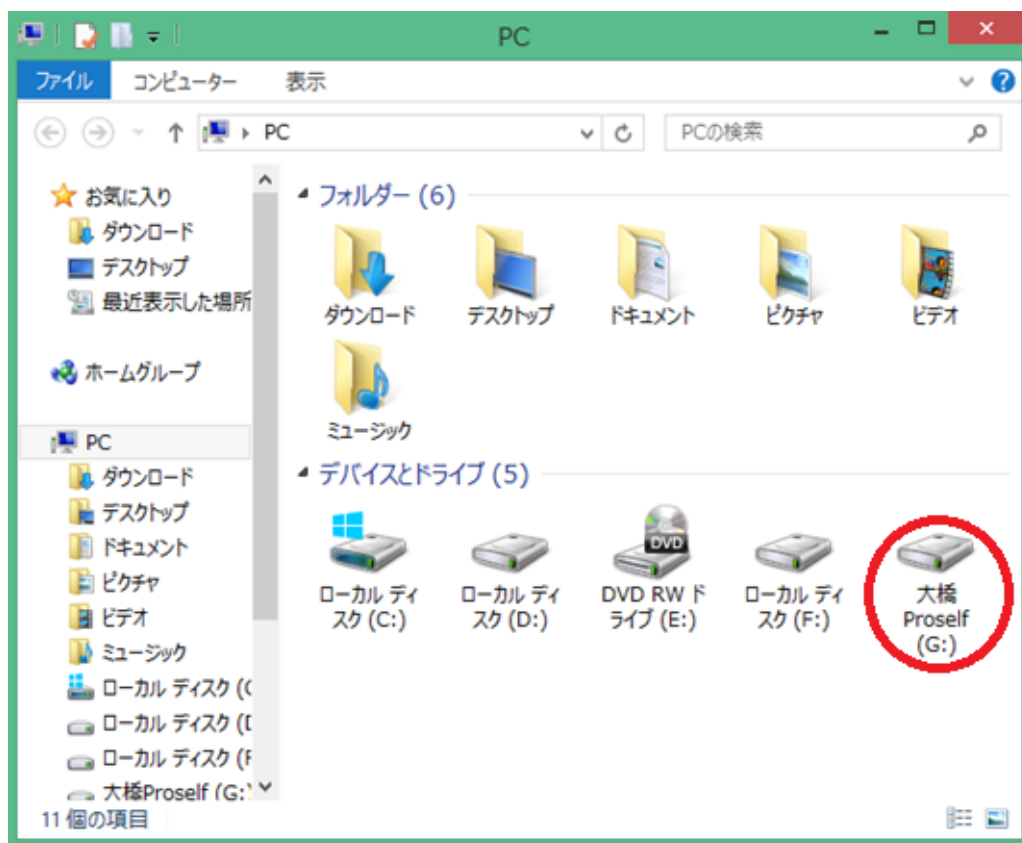
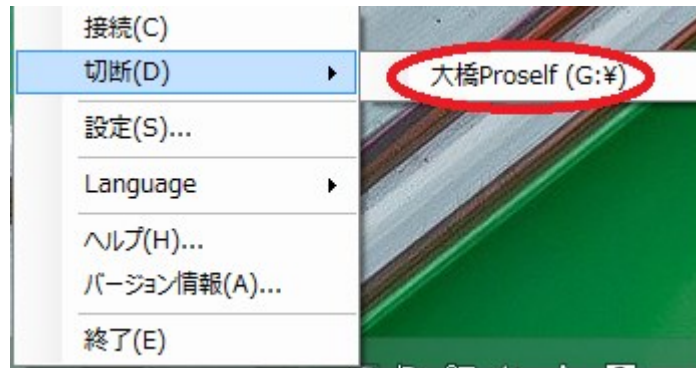


図 12 仮想ドライブ割り付け画面

## (2) 切断

タスクバーの Proself Disk アイコンを右クリックして「切断」メニューから接続名をクリックして切断してください。



切断されると、図 13 ように仮想ドライブの割り付けが解除されます。

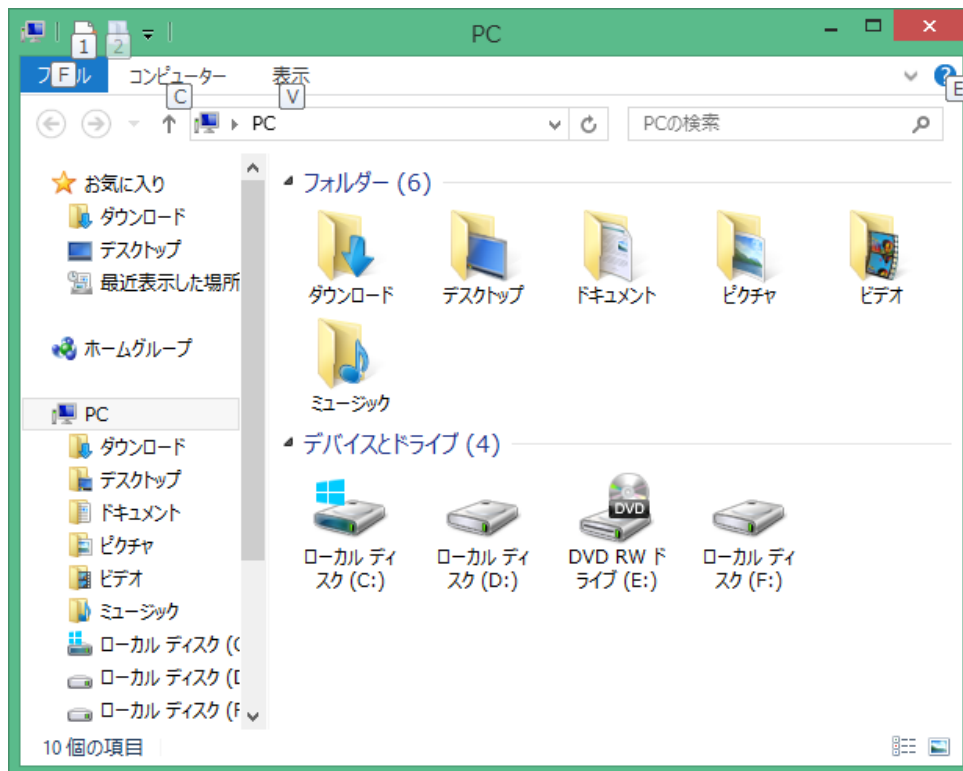


図 13 仮想ドライブの解除画面

#### 4. 仮想ドライブのファイル操作

##### (1) 仮想ドライブのホームフォルダ

Proself に接続すると図 14 ような Proself の仮想ドライブ(大橋 Storage(G:))が表示されるのでダブルクリックします。

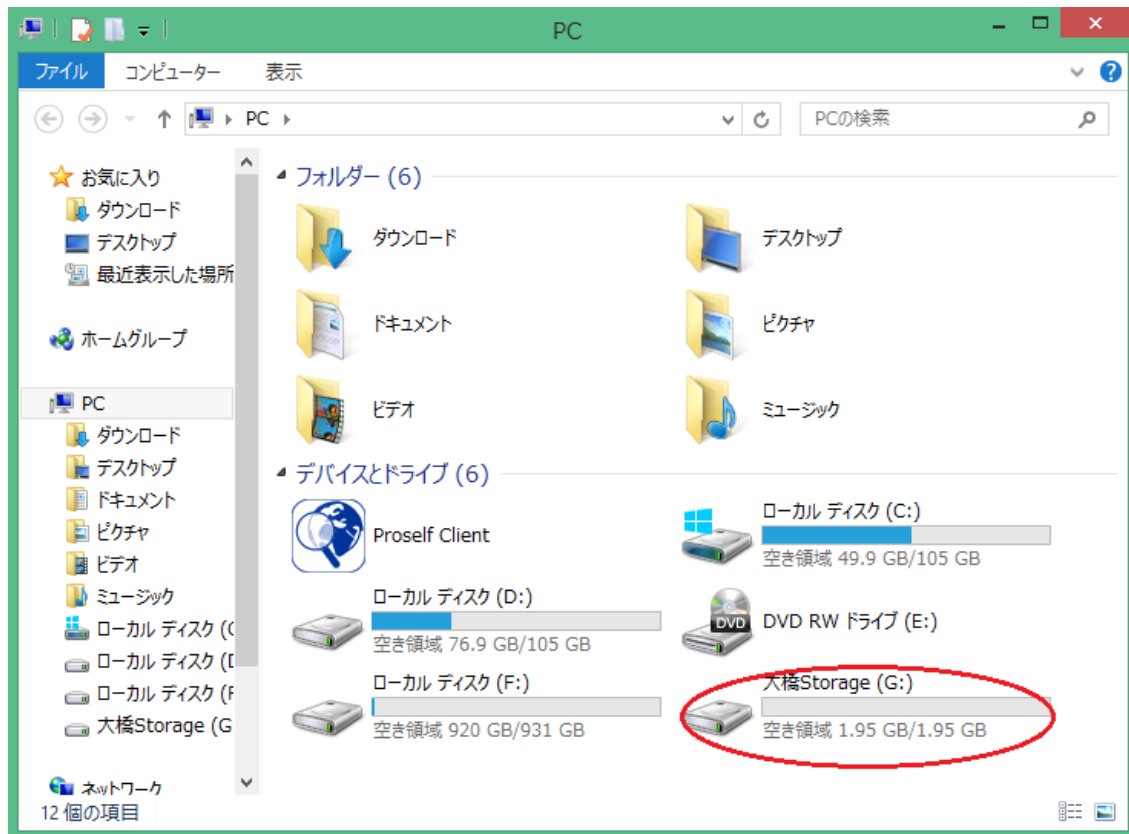


図 14 エクスプローラー画面

図 15 のような画面が表示されます。これが仮想ドライブのホームフォルダになります。（ここでは、ユーザ ID が「hirayama」の場合です。） 実際の操作を行うためには、「hirayama」フォルダに移動しなければなりません。移動するためには、フォルダをダブルクリックしてください。



図 15 仮想ドライブのホームフォルダ画面

利用者(hirayama)のフォルダに移動した後は、通常のローカルディスクと同じ操作で次のようなファイル操作が可能です。

- ・ドラッグ&ドロップでファイルのアップロードを行うことができます。

- ・アプリケーションで作成したファイルを仮想ドライブに保存することができます。
- ・仮想ドライブ上のファイルをダブルクリックすることにより関連するソフトが起動します。

## (2) Web 公開

ファイルを他人に渡すためには、渡したいファイル(フォルダ)を選択して右クリックし、「Web 公開(W)...」をクリックしてください。ここでは、「システム」フォルダを Web 公開します。

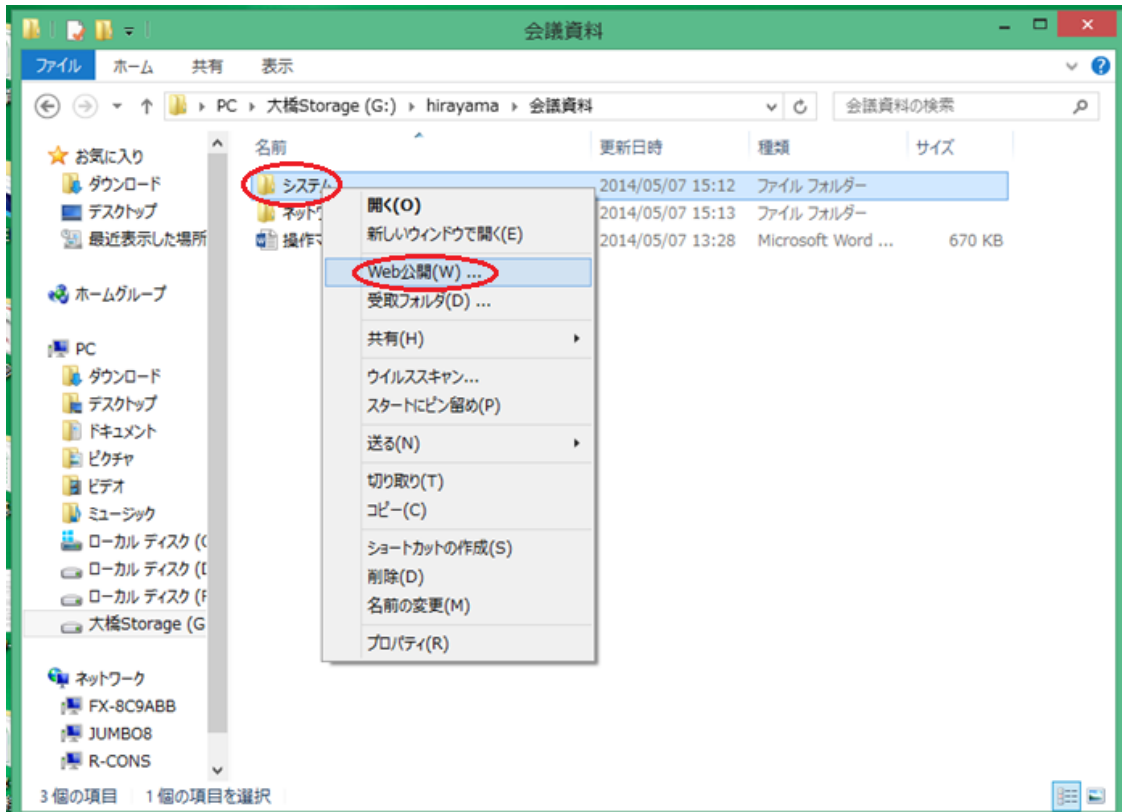


図 16 Web 公開操作画面

図 17 のような画面が表示されるので各設定をして「OK」ボタンをクリックしてください。ここでは、「公開期限」だけを設定しています。

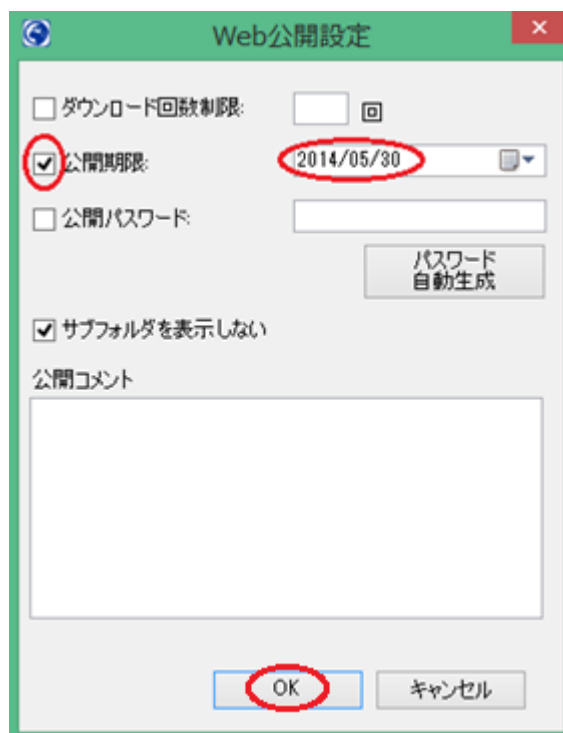


図 17 Web 公開設定画面

図 18 のような画面が表示されるので「クリップボードにコピー」ボタンをクリックして公開アドレスをコピーし、続いて「OK」ボタンをクリックし、Web 公開操作を終了してください。

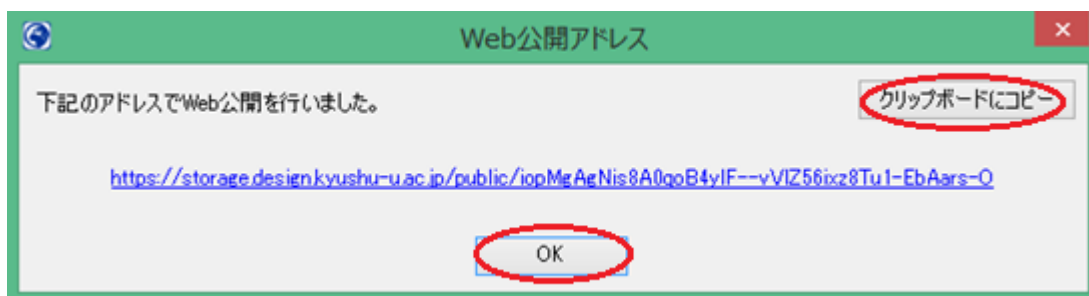


図 18 Web 公開アドレス画面

クリップボードにコピーした公開アドレスをメールに貼り付けて相手に送ります。メールを受け取った人は、この公開アドレスにアクセスすることによりファイル(フォルダ)を受け取ることができます。

### (3) Web 公開の停止

Web 公開を停止したいファイル(フォルダ)を選択して右クリックし、「Web 公開停止(S)」をクリックします。ここでは「システム」フォルダを Web 公開停止します。

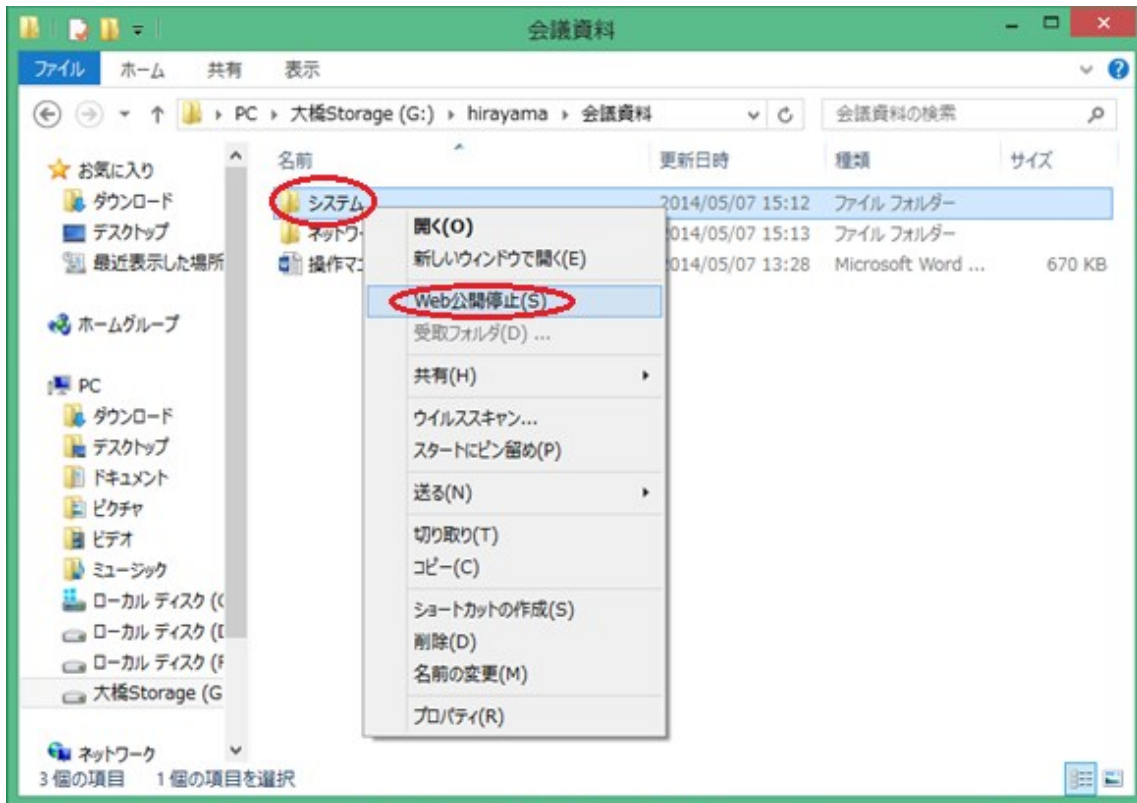


図 19 Web 公開停止操作画面

#### (4) 受取フォルダの作成と設定

受取フォルダとは、他人からファイルを受け取るためのフォルダです。  
他人からファイルを受け取る手順は次のようになります。

- ① 受取フォルダの作成
- ② 受取フォルダの設定
- ③ 受取フォルダの URL をメールで連絡
- ④ 受取フォルダに他の人がファイルをアップロード

##### ① 受取フォルダの作成

仮想ドライブ上で右クリックし、「新規作成(X)」から「フォルダー(F)」を選択して作成します。

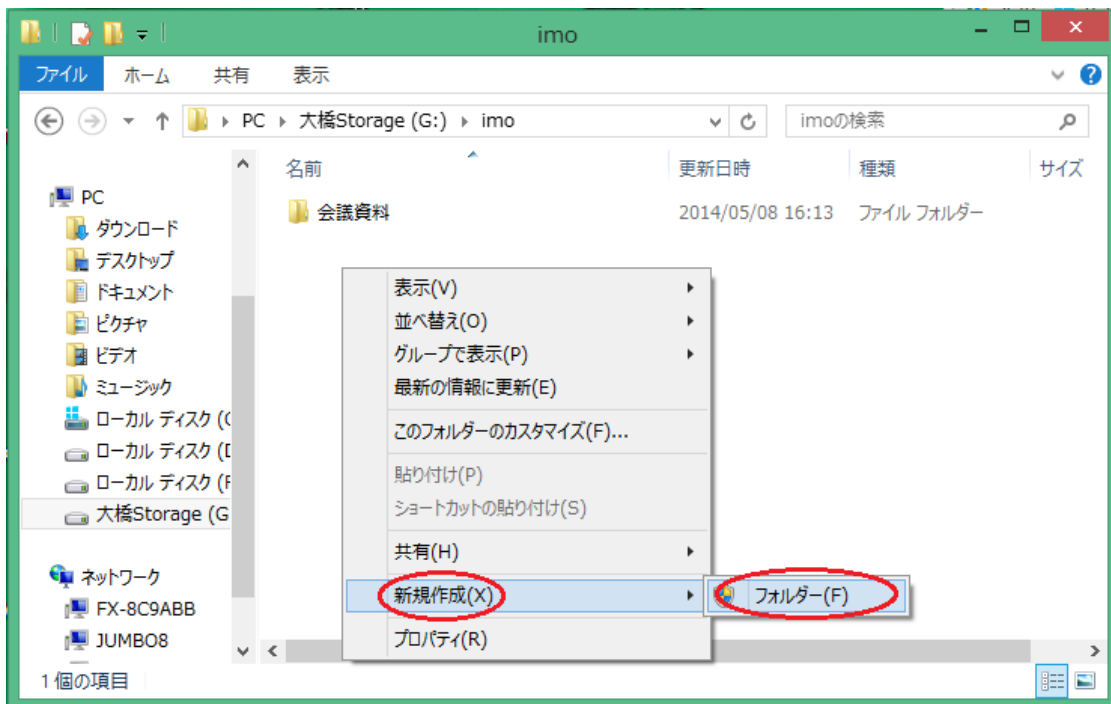


図 20 受取フォルダの作成画面

図 21 のように受取フォルダが作成されます。ここでは、「レポート」という名前のフォルダを作成しています。

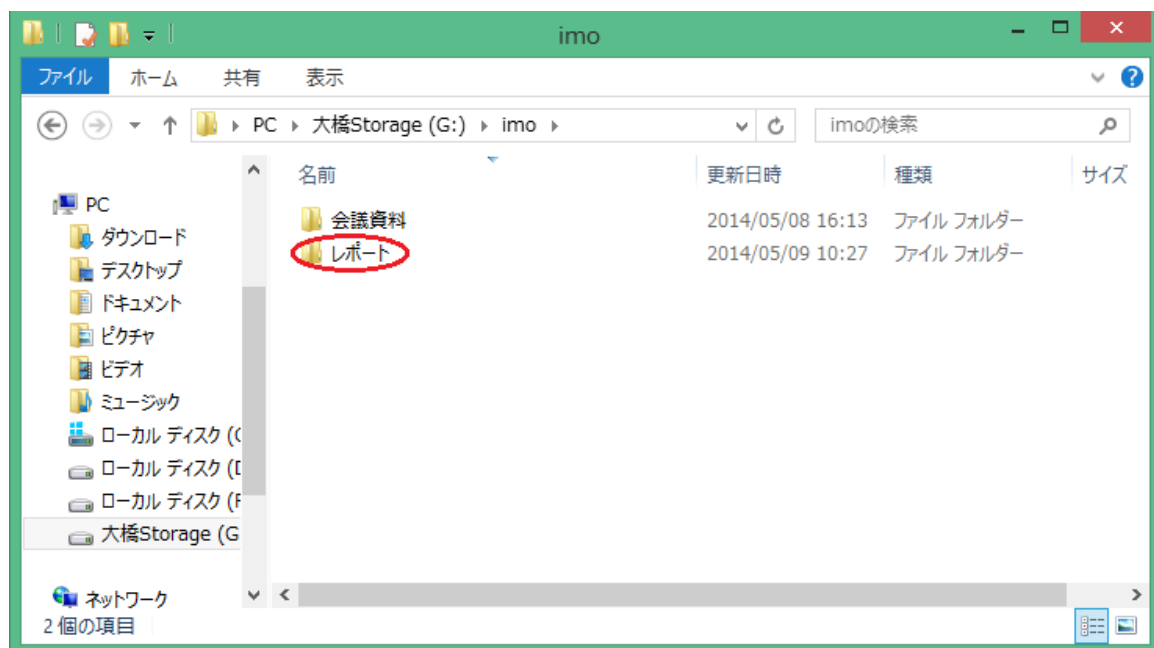


図 21 受取フォルダ画面

## ② 受取フォルダの設定

受取フォルダ(レポート)を右クリックし、メニューから「受取フォルダ(D)...」を選択します。

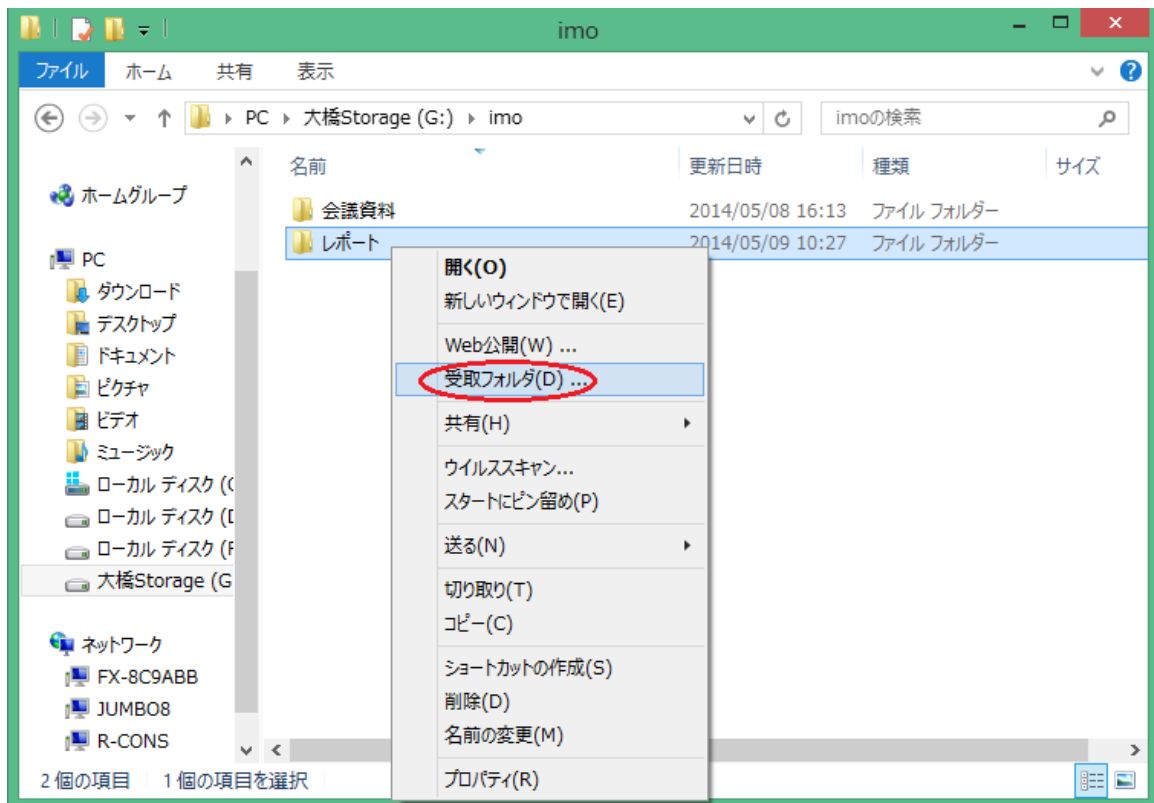


図 22 受取フォルダ選択画面

図 23 のような画面が表示されるので、受取フォルダの必要な設定を行い、最後に「OK」をクリックしてください。ここでは、アップロードが出来る期限(公開期限)のみを設定しています。

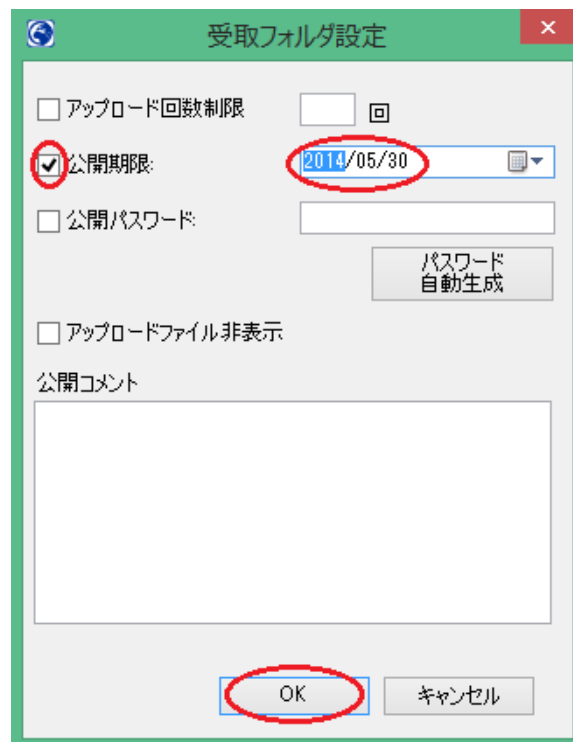


図 23 受取フォルダ設定画面

図 24 のような画面が表示されるので、「クリップボードにコピー」ボタンをクリックして受取フォルダの URL をコピーし、最後に「OK」をクリックしてください。



図 24 受取フォルダアドレス画面

③ 受取フォルダの URL をメールで連絡

Web 公開の時と同様の手順で、クリップボードにコピーした受取フォルダの URL をメールに貼り付けて相手に送ります。

なお、受取フォルダの URL は、受取フォルダを右クリックして、メニューから「プロパティ(R)」を選択して確認することもできます。

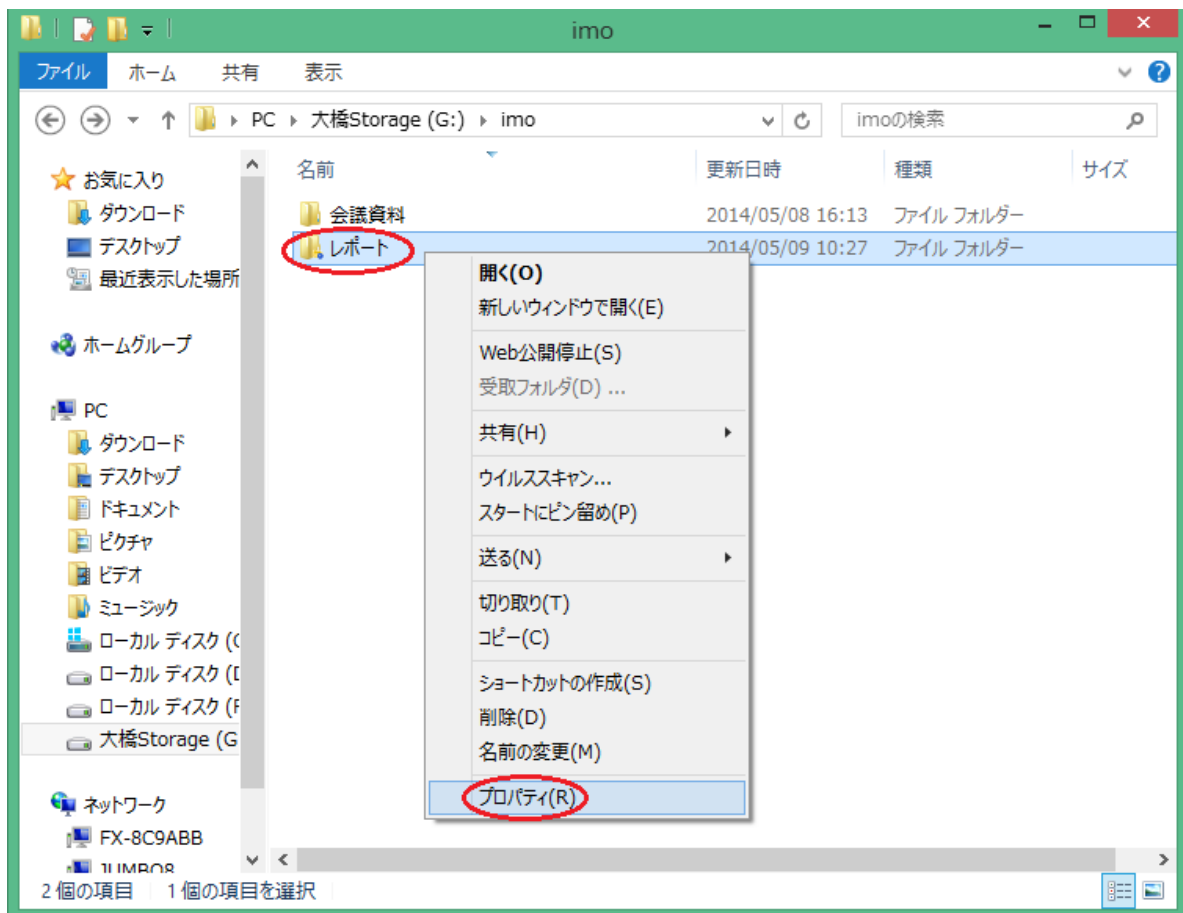


図 25 プロパティ選択画面

図 26 のプロパティ画面で「Proself」 タグのクリックにより公開アドレスの URL を確認できます。

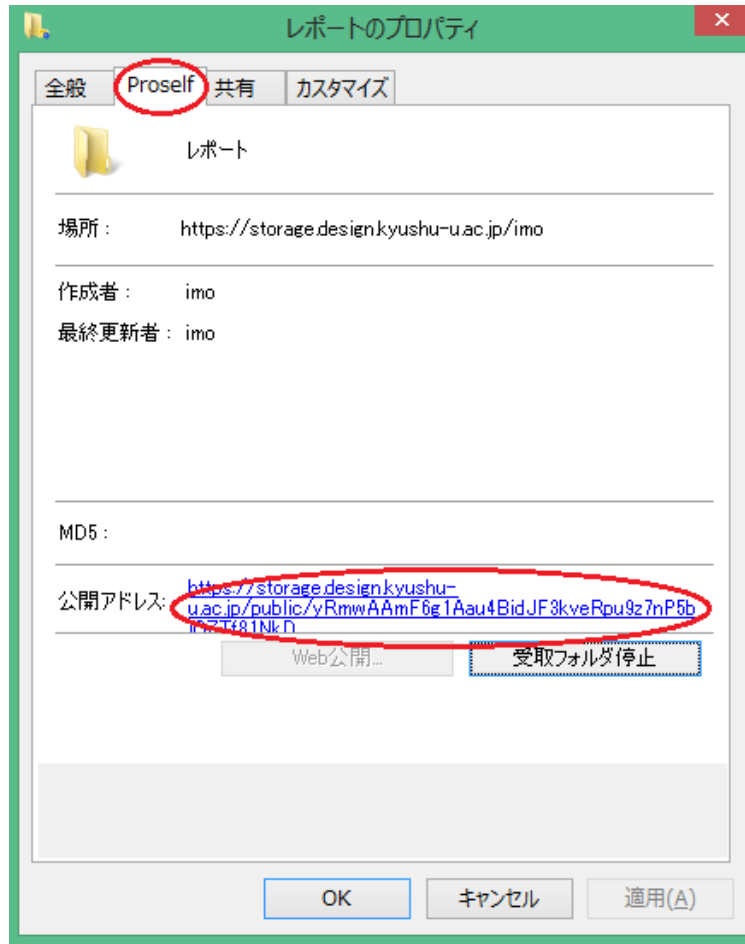


図 26 受取フォルダのプロパティ画面

④ 受取フォルダに他の人がファイルをアップロード

メールを受け取った相手が、受取フォルダの URL にアクセスすると次のような画面が表示されます。



相手は、「アップロード」をクリックしてファイルを受取フォルダにアップロードします。